

平成 29年度

学校評価特集号

東根市立神町小学校

平成30年3月1日

TEL 47-0035

FAX 47-0275

アンケートへのご協力ありがとうございました

日頃から本校の教育活動について、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。神町小学校では、学校教育目標に「心豊かに 共に学び 世界とつながる子どもの育成」、スローガんに「世界とつながる神小っ子」を掲げ、特色ある教育活動日々の教育実践に努めてまいりました。昨年度、アンケートの評価項目を10項目に絞り込みましたが、昨年度のアンケートの結果と比較すると、今年度の成果と課題がグラフ等に良く表れていました。保護者の皆様から頂戴したアンケートの結果をもとに、今後も子どもたちが楽しく学校生活を送ることができる学校を目指していきたいと思っております。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度学校経営の重点と具体策

1 心豊かな子ども 心と心がつながる学校【いのち】

- ・あいさつ運動と体験活動
- ・認められる集団づくり
- ・教育相談の充実
- ・読書活動の推進
- ・健康に関する自己管理能力の育成
- ・安全教育の充実

2 共に学ぶ子ども かかわり合い共に学ぶ学校【学び】

- ・確かな学力の育成
- ・教材、仲間、自分とつながり
- ・探究的、協働的な学習過程の工夫
- ・ICT活用と情報教育の推進
- ・外国語活動の工夫

3 世界とつながる子ども 仲間・地域とつながる学校【仲間・地域】

- ・児童会や縦割り班活動の交流
- ・地域とつながる活動
- ・環境教育の実践
- ・小小・小中連携による学力向上プラン
- ・幼保小連携によるスタートプログラム

重点研究テーマ

1年目

教材・仲間・自分とつながる子ども

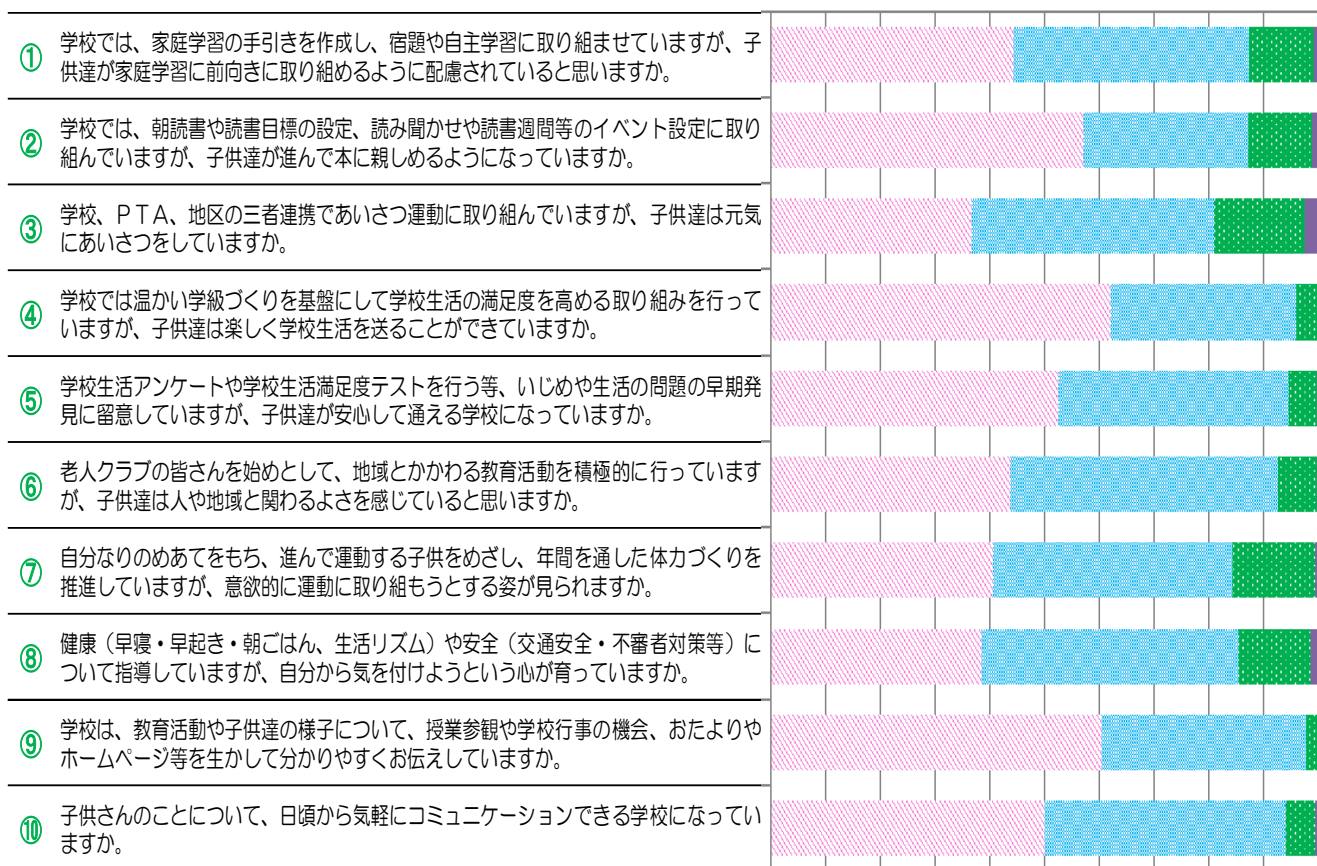
～見方・考え方が拡がり深まる授業づくりを通して～

めざす学校像

世界とつながり、みんなのいのちが輝く学校

保護者アンケートの集計結果と考察

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



△そう思う① ■少しそう思う② ■あまり思わない③ ■思わない④

<分析・考察>

◎ 今年も高評価、楽しく学校生活を送る（項目4）

「そう思う」「少しそう思う」を合わせた割合が昨年度とほぼ同じで96%に達しました。この結果は項目10の「気軽にコミュニケーションできる学校になっているか」を肯定的にとらえている割合が約10%アップしたと結びついているように思います。互いに認め合う温かい集団づくりは本校が最も力を入れている経営の重点で、今後も持続できるように魅力ある教育活動を推進していきたいと考えています。

● 特色ある教育活動の中で人や地域と関わる学習がさらに充実（項目6）

昨年度と比べ大きく評価が高まりました。本校では伝承文化クラブの活動をはじめ、稲作体験学習やだんご刺しなど地域の方々を講師にした特色ある教育活動に力を入れています。また、項目2の「本に親しむための読書活動」も高評価で、特に、読み聞かせではリボンの会の新メンバーが続々と加わり、活動もスタッフもさらに充実してきました。こうした取組を毎月の学校だよりやホームページ等で積極的に発信してきました。今回の好結果を励みに本校の良さをどんどん発信していきたいと思えます。

● あいさつリレーで上学年があいさつ運動をリード（項目3）

計画委員会が中心となって進めてきた「あいさつリレー」の成果が徐々に表れてきています。全体の評価は昨年とほぼ変わりませんが、上学年の評価が大幅に高まりました。アンケート記述には、あいさつはまだまだ十分ではないというご意見も多くありましたが、1・2年生の保護者の方から朝の立哨では、あいさつが良くなったという感想が寄せられています。また、家庭で力を入れることとして、あいさつを考えている保護者の方がたくさんおられたことはとても心強く思いました。来年度は、横断歩道で止まってくれたドライバーに対してお辞儀をする「ペコリ運動」にも広がってきたいと考えています。

▲ メディアと上手に関わり、好ましい生活リズムを身につける（項目8）

春の全国学力学習状況調査や本校の SNS に関するアンケートでは、他校と比べメディアに多くの時間をかける傾向にあることが顕著に表れていました。今回のアンケートでも、特に上学年の保護者の方が子どもの生活リズムや交通安全に対する意識が十分でないと感じています。

▲ いじめ等に対する予防、そして早期発見、早期対応（項目5）

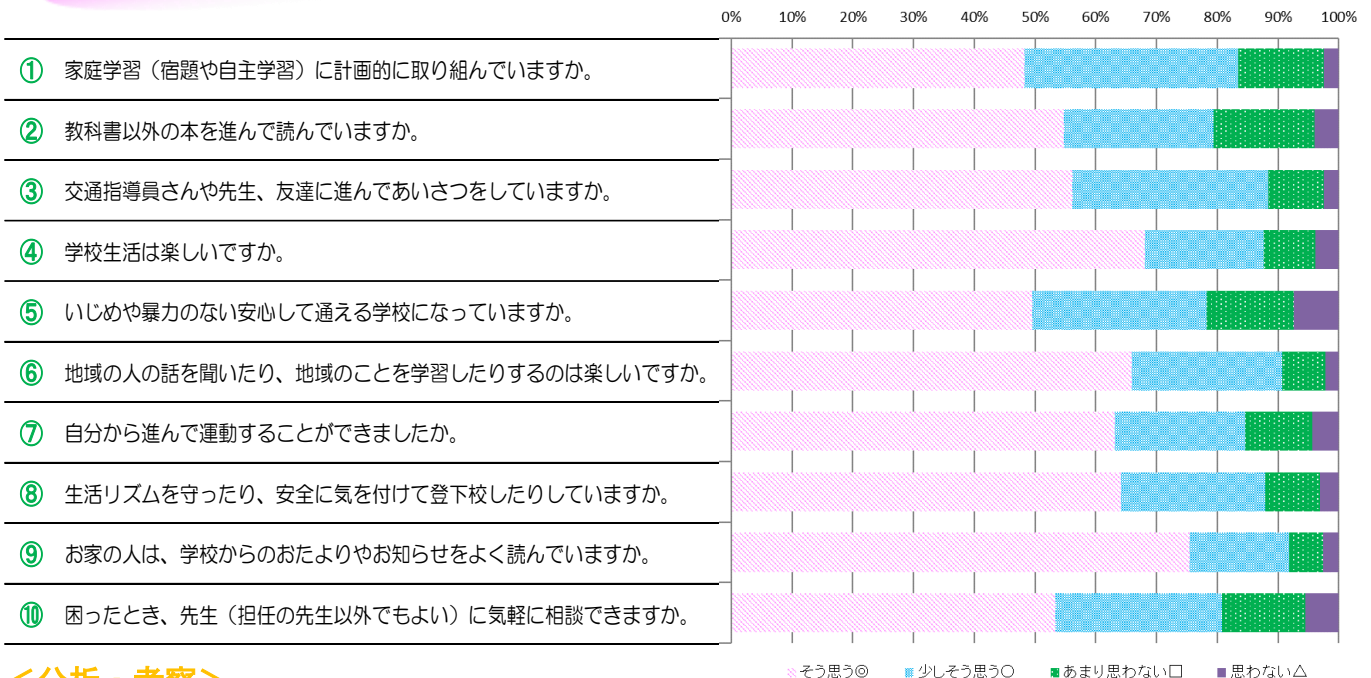
アンケート結果のグラフでは昨年度とほとんど変わらず95%の保護者の方が安心して通える学校と評価してくださいました。しかし、アンケート記述には言葉の暴力があることやいじめを行った児童に対してもっと厳しく指導してほしいというご意見がありました。児童全員にとって学校が楽しい場所になるように、授業や行事を通して互いに認め合う温かい関係づくりに今後も力を入れていきたいと考えています。

◆ 記述欄から

- 《学校で力を入れてほしいこと》
 - 英語に親しむカリキュラム、授業時数を増やしてほしい。
 - 授業でしっかり学力をつけてほしい。
 - 自学は何をするか悩む時間が多いので、宿題を少し増やしてほしい。
 - 長期休業中の学習会などを企画してはいかがでしょうか。協力します。
 - 子どもたちの乱暴な言葉や言葉遣いが気になります。人を大切にする心を育ててほしい。
 - 子どもの学校での様子を教えてください。先生が気になることや変化があれば伝えてほしい。
- 《家庭で力を入れたいこと》
 - 宿題、早寝早起きなどの生活習慣
 - メディア（ゲーム、テレビ、ケータイ、タブレットなど）使用の時間制限



児童アンケートの集計結果と考察



<分析・考察>

◎ 学校からのおたよりはよく読まれている（項目9）

学校だよりをはじめホームページが各家庭で読まれていることを多くの児童が感じており、昨年度とほぼ同じで高い評価でした。特に、各学級担任からの学級だよりには月予定や翌週の時間割が載っており、よく読まれているようです。保護者のアンケート記述にはホームページの更新についてさらにスピード感をもって取り組んでほしいというご意見が多く、それだけ関心を持って見ていただいていることに感謝いたします。今後も子どもたちの様子をどんどん発信していきたいと思えます。

● 特色ある教育活動は子どもたちにも好評（項目6）

りんごや米づくり、町探検にスーパー見学の外に、ようこそ先輩講演会やスクールコンサートなど地域の方が講師を務める教育活動を本校では特に力を入れて行っています。そして、こうした活動は子どもたちにとって大いに魅力ある内容となっており、今後も見直し、改善を図りながら進めていきたいと考えています。

▲ いじめのない安心して通える学校に（項目5）

安心して通える学校と感じている児童の数は8割を占めていますが、そう感じていない児童が約2割いることに目を向ける必要があります。項目4の「学校は楽しいですか」に対して「そう思う」と答えた児童の割合は昨年度より増えています。乱暴な行為や言葉にいやな思いをしている児童も少なくありません。保護者アンケートでもいじめに対する対応について要望をいただきましたが、子どもたちが安心して学ぶことができる環境を作っていくことが本校の大きな課題だと考えています。

△ 今後必要な自己教育力（項目1）

宿題や自主学習はどちらかというやらされている意識が強く、今後やらされる学習から自らする学習に変えていくことが求められます。アンケートでは学年が上がるにつれ十分にできていないと自己評価する児童が多く見られました。自分の勉強方法の課題を見つめ、見通しを持って補充していくことができるように自主学習の仕方を身につけさせる、育てる意識を持って取り組んでいきたいと思ひます。

学校評議員会でのご意見

- 読み聞かせの活動を行ってきて、学期を重ねるごとに子どもたちの話を聞く態度が良くなってきています。特に、中学年の話を聞く集中力が昨年の春と比べて大きく変化してきました。また、読み聞かせのメンバーが考えて本を選んでいますが、その意図を子どもたちが十分にくみ取っているように感じます。
- たてわり班の遠足は異学年の交流活動として人との関わり方を学ぶ良い機会と鳴っている。また、今後、中学、高校、社会につながるもので、神町小学校で培った人間関係は将来いろいろな人とコミュニケーションをはかるうえで大いに役に立っています。
- 神小フェスティバルを参観し、自分を表現できる児童が多く育っている。特に、男子児童はよく歌います。また、各学年の行事から体験を通して学ぶ場面が多いことはいいことです。
- あいさつ運動では上学年が学校を引っばっており、とてもいいことです。
- 児童のアンケート結果から、自分を良く評価している割合が高く、自尊感情が高いことにもつながり、とても良いことです。
- ▲神町小学校の課題であるメディアとの関わり方では、6年生で情報モラル教室を授業参観で行っており、保護者への情報提供の場となったことは良かったです。他学年でも、携帯電話を持たせる前にこうした取組を行い、親が先手を打てるようにしていくことが大切だと考えています。
- 神町パトロールのベストや帽子を身に付けて立哨すると子どもたちから元気なあいさつをしてくれるのですが、普段町中で会ったときは何も反応がないのが残念です。最近では知らない人が話しかけただけで不審者に間違われ、地域で子どもたちを育てることが難しい時代となっています。悲しいことだが仕方がないのかもしれない。

これからも学校と家庭と地域が連携して、「やさしく かしこく たくましく世界とつながる神小っ子」を育てていきましょう。